

# ふるさと栄会会報

<http://www.sakaekai.net/>

## 第30回 ふるさと栄会 平成25年12月8日(日)

詳しいご案内 .....	2 頁	
ふるさと栄会に寄せて	横手市長 五十嵐 忠悦 .....	4 頁
栄公民館だより	栄公民館長 黒沢 精子 .....	5 頁
母校だより	横手市立栄小学校長 菊地 真喜夫 .....	8、9 頁



『青空に向かって!』 “わたしの好きな横手の風景”をテーマに開催した第2回『横手の景観』写真コンテストでグランプリを受賞したTAKA-Cさん(横手市)の作品です。(市報よこて編集・デザイン/総務企画部市長公室・承認済)

## 会長挨拶

ふるさと栄会会長 高橋 豊

ふるさと栄会会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年は三十回目の記念すべき総会を迎えることになりました。ご支援ご協力いただきました会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

顧みますと、大神宮会館に二百名をこえる会員の皆様で盛大に開催された第一回総会から三十年の時が流れました。ふるさと栄会をとりまく環境は当時と大きく変わりました。

首都圏への農産品販路拡大と会員の親睦をめざして、栄農協が音頭をとって発足した会ですが、今や農協も「秋田ふるさと農協」と組織を拡大し、情報化の進展と相俟ってその機能は絶えたとように思えます。

また、当時はふるさと会もほとんどなく画期的なことでしたが、今日県人会やふるさと会が各地にいろいろな形で組織され活動されています。

会員の状況を見ますと全国に広く分布し、高齢化して総会への参加が難しくなっています。

さらに少子化に伴い、中学校の統合や学区変更で栄地区出身者が激減し、若い会員を確保できない悩みもあります。このような状況をどう克服するかが課題となっています。

## 第30回「ふるさと栄会総会」のご案内とお願い

### 日時

平成25年12月8日(日)  
午前10時15分より 受付開始  
同 11時 総会

### 会場

アートコンプレックス・センター

### 会費

三、〇〇〇円(当日会場にて)  
活動運営資金賛助金は振込みでも当日でも申し受けます。  
準備の都合上、欠席の場合も必ず返信ハガキにてご出欠のご連絡をお願いいたします。

### 会員の皆様へお願い

現在、ふるさと栄会の会員は名簿のうえで八三〇名おられます。全員に毎回、会報や総会のご案内等をお送りしておりますが、総会の出欠などご返事のない方が多数おられます。

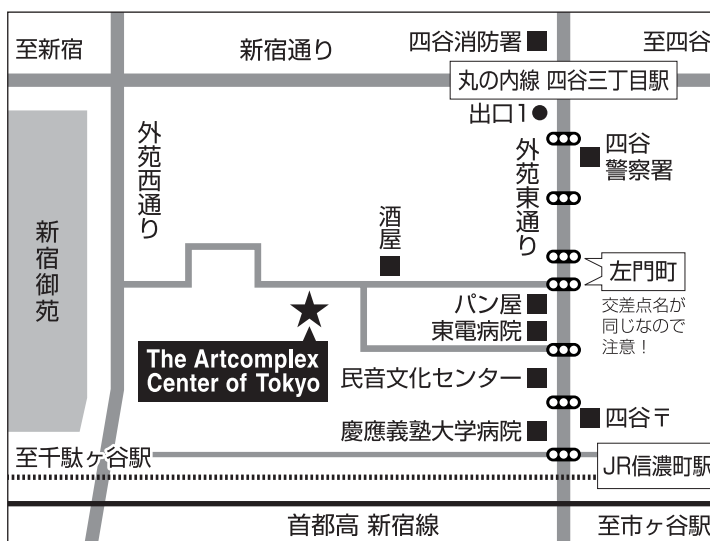
いろいろ事情がおりとは思いますが、どうぞ欠席の場合にも必ず返信のハガキを投函いただきますようお願い致します。

このたび、会員名簿見直しにあたり、これまで連絡のない方及び今回の総会へのご返信をいただけない方については、今後会報等の送付を見あわせたいと思っております。ご理解ご協力をお願い致します。

### お問合せ先

ふるさと栄会連絡所 和賀秀夫  
〒二三二―〇〇六五 (新町)  
横浜市南区別所中里台十五―四〇  
電話・FAX〇四五―七四二―一五四〇  
携帯 〇九〇―二四二四―一七七―一  
E-mail: h.wagas55@soleil.ocn.ne.jp

## The Artcomplex Center of Tokyo アートコンプレックス・センター



●丸の内線「四谷三丁目」駅【出口1】、徒歩7分

●JR総武線「信濃町」駅、徒歩7分

※住宅街の中世ヨーロッパ風のレンガ造りの建物です。

## 第30回ふるさと栄会プログラム

第一部 総会 11時00分

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
  - (1) 事業報告
  - (2) 決算報告
  - (3) 監査報告
  - (4) 役員改選・役員紹介
5. 来賓あいさつ

記念ライブ 斉藤 忠生(テノール & トーク)

第二部 懇親会 12時20分

- 乾杯  
来賓紹介  
カラオケ大会  
ビンゴゲーム(賞品、他多数)

第三部 二次会 14時～16時

ふるさと栄会役員会の活動報告

一、平成25年度役員会開催

第1回 平成24年12月16日(日)

① 第29回総会の総括

② 平成24年度決算

第2回 平成25年4月14日(日)

① 監査役員会

② 役員会

イ、第30回総会について

ロ、会報の内容について

ハ、決算報告

ニ、記念公演について

第3回 平成25年7月14日(日)

① 第30回総会について

② 平成24年度の会計監査

③ 会報発行について

④ 新役員体制に向けて(案)

第4回 平成25年10月20日(日)

① 第30回総会の内容確定

② 平成25年度総会の予算案

③ 総会までの役員の準備手配

役割分担の確認

④ 平成25年12月7日(土)

第30回総会準備

二、平成25年度の活動

① 平成25年6月～8月

記念ライブ候補ショー下見会

さかえ館黒沢館長表敬訪問

大屋梅保存会戸田事務局長表敬訪問

横手市立栄小学校表敬訪問と原稿依頼

② 会報入稿完了予定 10月上旬

③ 会報印刷・発行発送 11月上旬より

④ 同期会・同級会への支援・

助成金の交付と会報によ

るPR活動の支援

(一) 助成の目的・同期会等

の活動が活発に行われる

よう支援することにより

「ふるさと栄会」の維持発

展に寄与する

(二) 助成の金額

① 「ふるさと栄会総会」

に10名以上の同期生が

出席し別に同期会を開

催するときは、五千円を

助成する。

② 同期生が全体的に集う

本厄の還暦祝・古稀祝

を開催したときは一万

円を助成する。

③ 助成の申請及び報告

主催者又は代表者が会の

開催日時・場所・参加人

数等を「ふるさと栄会」の

役員に申し出て助成を受

け、事後に報告する。



## 平成24年度会計報告(案)

総会に承認を求める案です。

科目	内容 (第29回)	第28回(平成23年)			第29回(平成24年)		
		人数	収入	支出	人数	収入	支出
賛助金	85名	101	278,000		85	252,000	
会費	会費(53名×6,000円) <sup>(6名×5,000円)</sup> <sub>夫婦3組</sub>	55	324,000		59	348,000	
	二次会の会費(62名)	63	97,000		62	109,000	
広告	24件(24件×5,000円)	25(件)	125,000		24(件)	120,000	
会場売上	ビンゴカード・梅干・漬物他		192,200			248,390	
祝金	東京かまくら会様・西中同窓会様・ 遠藤様・来賓の皆様(25名)	21	200,000		21	276,000	
利息	貯金利子		50			66	
印刷代	会報印刷代・ハガキ・封筒・振込用紙 総会資料等印刷代			300,355			308,525
通信費	郵便切手・連絡用ハガキ・宅配便代 (返信ハガキ後納料金利用)			25,461			20,260
会場費	総会会場費・芋の子汁材料・ 清酒・りんご・漬物・大屋梅・ 鉢植・来賓土産			705,755			874,589
謝礼	斉藤様へ謝礼金・お車代			10,000			80,000
その他	会議費・紙袋・電子コピー代・ 西中同窓会祝金・振込み手数料・ カラオケ設置・他			71,737			92,767
収支合計	計		1,216,250	1,113,308		1,353,456	1,376,141
繰越金	前期繰越		185,583			288,525	
	24年度決算額		102,942			-22,685	
	25年度へ繰越			288,525			265,840
合計			1,401,833	1,401,833		1,641,981	1,641,981



## 30周年 おめでとうございませう

横手市長 五十嵐 忠悦



ふるさと栄会が設立30周年を迎えられたことに對し、心からお祝いを申し上げます。会員の皆様には横手市の発展のためご指導、ご協力をいただくとともに、設立以来、ふるさと栄会が首都圏と横手市との交流の架け橋として大きな役割を果たしてこられたことに對し、深く感謝と敬意を表します。

横手市も平成17年10月に合併し、満8年が経過いたしました。来年は、新横手市として10年目に入る記念すべき年であり、市民の皆様がより豊かで幸せを感じることでできる地域社会の実現を一層目指してまいりたいと考えております。

さて、現在、JRグループ6社による秋田デザイン・シヨンキャンペーンが、10月から12月の3ヶ月間、秋田県

内で開催されております。当市でも体験型観光プランの作成や、観光スポットを結ぶシャトルバスの運行、そして各方面と連携しながら様々なイベントを開催し、県内外からの誘客を図っているところですので。当市は発酵文化のまちであり、そのPRとして、奥羽南線を走行する車両と横手駅舎を、麹菌などの菌をテーマにした人気漫画「もやしもん」のキャラクターで装飾いたしました。皆様も横手に帰郷されることになりました。皆様も横手に帰郷されることになりました。皆様も横手に帰郷されることになりました。皆様も横手に帰郷されることになりました。

さらに、今年の4月には、スポーツを通して市民一人ひとりが心と身体を豊かにし、活力と魅力にあふれるいきいきとした元気なまちを目指し、「スポーツ立市よこて」を宣言いたしました。それに伴い、5月29日に、市全域としては初の参加となるチャレンジデー2013を実施しました。チャレンジ

デーとは、人口規模がほぼ同じ自治体同士が午前0時から午後9時までの間に、15分以上運動やスポーツをした人が何人いるかという住民参加率を競うスポーツイベントであり、栄地区の皆様にも、スポーツはもちろん、農作業、通勤、通学、買い物など、様々な形でご参加をいただきました。今年は兵庫県豊岡市との対戦でしたが、参加者数は7万人を超え、見事に勝利し、金メダルを受賞することができました。今後も、健康づくりやスポーツに親しむ機会を通して、元気なまちづくりと地域経済の活性化を図ってまいります。

日頃から会員の皆さまにおかれましては、「ふるさと納税」などにより、当市のまちづくりにおける様々な挑戦を応援いただき、心から感謝申し上げます。さらに魅力ある横手市として、皆さまが誇れるふるさとを創ってまいりますので、なお一層のお力添えをいただくと幸いです。

結びに、ふるさと栄会の今後のますますのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りし、ごあいさつといたします。

有限会社 秋田しゃぼんサービス  
グループホーム **りんご村。**

施設長 **和賀 健悦**

〒013-0051  
秋田県横手市大屋新町字平林46-1  
電話 (0182) 35-6271  
FAX (0182) 35-6272

地域に密着して 愛される窓口を  
目指しています。

株式会社  
**JP 横手栄郵便局**

TEL 0182-33-8240  
FAX 0182-33-8204

局長 高橋 俊彦

うぶすなさま  
**郷土ふるさと産土様**

法龍山守 榮神社  
鎮 守

初代快永法師より450年  
第十六代宮司

**神原 義征**

〒013-0051  
横手市大屋新町字小松原4番地  
電話 0182-33-5617



## 栄公民館の活動より

### 「元気ムラ」の種袋

栄公民館館長 黒沢 精子

「おはよう！」と鳴く「おはようカラス」が日本全国で報告されるようになりました。「ウッソー」とお思いのみなさま、今度、よく鳴き声を聞いてみてください。カラスの種類は「ハシブトガラス」。カラスは黒くて気持ち悪いイメージですが、とても利口で声帯が九官鳥に似ているので鳴けるのだそうです。私もついに「おはようカラス」に遭遇しました。おはよう！と言うと、おはよう！と何回も鳴いて応えてくれます。寺内地区にも三年前から「おはようカラス」が出没しているそうです。ちなみに「おはよう」のほかには、バカー、ハロー、オッカー、アッホー、ニャンニャンニャン、アー、などの鳴き声もあるそうです。我が家には数年前、空からオタマジャクシが5匹くらい降って来ました。その後に幸せを招くという未確認生物「ケサランパサラン」がやってきて、現在飼育中？です。決して頭が変になつたわけではありません。世の中には不思議な事がたくさんあるという一例をご紹介します。

さて、岩手県の平泉が世界文化遺産に登録され「平泉のルート」は横手にあり」と、平安時代に横手周辺を舞台に繰り広げられた「後三年の合戦」がスポットを浴びています。横手市でも観光に結び付けようと宣伝に力を入れておりますが、この合戦の時に源義家軍が通ったであろう、栄地区を通る古代の官道「東山道（推定）」の周知を兼ねて、栄公民館でも「駅からハイキング」や三浦恵治さん（柳田）所有の「後三年合戦絵巻」の公開などを行って来ました。現在、研究者や大学の教授などを招いてのシンポジウムが盛んに行われております。この中で中尊寺の僧侶から、四代日藤原泰衡の首桶に入っていた百個ほどのハスの種のお話がありました。現在は「中尊寺古代ハス」として美しい大輪の花を咲かせ、横手市の山内と雄物川に株分けされていますが、なぜ首桶の中にハスの種が入っていたのか疑問だったそうです。それが秋田県の風習として、大事な人の棺に七種の草花の種を入れて葬り、あの世に行ったらその種をまいて美しい花園で暮らして欲しいという願いが込められている「種袋（たねぶくろ）」として納めたものだろうことがわかり、一気に疑問が解けたそうです。秋田の甲斐の風習が岩手にも受け継がれていたのです。

今年の上半期のNHKの朝ドラ「あまちゃん」で「じええええええ」がブームになりましたが、横手市の金沢では「じゃじゃじゃ」と言います。この言葉は「六郷のからから金沢のじゃ、横手のなんす」と揶揄されるほど日常には使われている言葉です。金沢の「じゃ」も、岩手県の紫波、花巻周辺で使われている言葉で、じゃを使う一団が集団移転して金沢に伝わった言葉といわれております。実は、中尊寺古代ハスの種は、紫波町の「五郎沼」に咲いていたものであることがわかつているのです。時空を超えた不思議な口マンや縁を感じませんか。栄地区でもこの度、新町の山の神さんの掛け軸が江戸時代の貴重なものであることがわかりました。新町には「テンギ」という風習もありました。そこで現在、少しでも親しみやすく栄地区を知るために「ウソ、ホント？栄地区の伝説」を作成中です。

来年春季には冊子にして皆様にお届け出来ればとがんばっております。

また、県の事業である「あきた元気ムラ」の一つとして、大屋地域の活動内容がHPにアップされております。元気ムラというのは、地域のお宝を発見し、活動を起こし、元気づくりの原動力としている集落を紹介しているサイトです。集落が「つながる」ことで活動が「広がる」交流を目指しております。去る九月八日に秋田ふるさと村ドーム劇場で行われた「あきた元気ムラ大交流会」に参加してきました。大屋梅保存会のブースでは、大屋梅を使った「梅漬けまんま」や「梅漬けそうめん」「梅ジャム」「梅まんさく」「ベリージャム」などが披露され「こんな郷土食もあるのか」と大変好評でした。住民全体の地域づくりや自主防災の大切さが話し合われましたが、自主防災といえ、寺内地区では拍子木を打つての火の用人の夜回りが今でも行われておりますのでお知らせいたします。

市では、平成二十七年度をメドに各公民館を指定管理の交流センターに移行する計画です。長年支所として機能してきた公民館は業務も多岐にわたります。そのためスリム化する検討を行う作業に入っております。時代の変遷とはいえ、なかなか明るい話題もありませんが、栄公民館が優良公民館として文部大臣表彰を受けた昨年に続き「若駒子ども会」（安田原下丁）が優良子供会として全国表彰されました。記念に緑色のクリアホルダーを作り町内に配布されました。また、「栄友和会」（外目）が、ぼんでんコンクールで念願の一等を受賞。「昭和会」（安田原）は海を渡り、台湾でぼんでんを披露して新聞に写真が載りました。ぼんでん唄コンクールでも、河村八重子さん（堂ノ前）が見事に優勝しています。

四月には、公民館にも二人の新人スタッフが配属されました。ベテランの

鈴木瑞穂に代わり、異動は初めてという二十代の吉方謙と事務補助の筒井美穂子です。どうぞよろしくお願いいたします。栄駐在所にも二十代の鈴木将也巡查長が配属になり、一気に若返ったような初々しい感じがしています。公民館の活動としては「栄公民館からエコ発信！」五年目。今年の目玉は、大屋梅保存会事務局長の戸田義昭さん（寺内）が推奨する「えひめA1」という菌液です。納豆一粒とヨーグルト、イースト菌、砂糖で作るEM菌に似た「えひめA1」は、消臭剤や農作物の発育促進に効果があり、ペットボトルで簡単に出来ますので地域に広めたいエコの一つです。

また、「横手やきそば音頭」に続き「長生きサンバ」の踊りがブレイク中です。敬老会で披露し「拍手喝采でした。エコが講じて折り紙は講座となり、声を出して健康づくりの「にほんごあそび講座」は、さかえ館まつりで成果を披露することになりました。初めての試みとして、公民館スタッフの隠れた特技を活かした講座「ミステリー講座」は、まさにミステリー。当日までどんな講座が行われるかヒ・ミ・ツです。これまで飯塚の「お家エステ」、筒井の「中国茶を楽しむ茶会」が行われ、吉方と和賀の男性二人がどんな講座で楽しませてくれるのか期待されています。



「横手やきそば音頭」に続く「長生きサンバ」9月11日(水)の敬老会で踊り、大変喜ばれました。

私も来春には退職となります。今年公民館の秋田県大会と東北大会で栄した。大変栄誉な機会を与えていただきました。大変喜ばれました。地域のみなさまや「ふるさと栄会」のみなさまのあたたかい応援と、力強いご協力のたまたまの感謝いたしております。ミステリー講座の最後には、ライフワークとして取り組んでまいりました伝承の「昔っこ」語りとプラスミステリーで、栄地区にお世話になったご恩返しが出来たらと考えております。

お伝えしたい事はまだまだあるので長くなりました。ふるさと栄会のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。栄公民館一同、栄元氣ムラの種袋となれるようこれからも精進い



ハンギングバスケット講習会  
10月のDC(ディスティネーションキャンペーン)に役がいました。



折り紙で「池に遊ぶカエルとハスの花」を折りました。

たしまして、七色の美しい花を咲かせられるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。

夏の涼味をあの方へ  
心からの贈りもの

稲庭手揉饅頭・稲庭手揉素麺

**京 家**

本社 秋田県横手市大屋寺内堀ノ内337-2

☎ 0182-33-5918  
FAX 0182-33-5949

販売所 秋田市ふれあいセンター(かまぐら館)  
秋田県横手市田中町1-26

秋小町、ほろわうどん

秋小町いなわうどんは、麺通をうならす味の逸品です。そのきめ細やかな乳白色の色あいと手造り特有のつややかなのとこしをぜひご賞味下さい。

秋田県横手市大屋寺内堀ノ内337-2  
TEL 0182-33-5918  
FAX 0182-33-5949  
秋田県横手市大屋寺内堀ノ内337-2  
TEL 0182-33-5918  
FAX 0182-33-5949

美味しさ伝えたい  
いなにわ手造りうどん

秋田県横手市大屋新町字堂ノ前22-7

有限会社 **三浦商店**

☎0182-33-5567 ☎0182-33-4555

よねや  
ハッピークラブ  
TEL-FAX 0182-36-6565

秋田県横手市  
みうら  
TEL-FAX 0182-33-8876



### JA秋田ふるさと横手総合支店

横手総合支店営農資材課 堀江 一彦

「ふるさと栄会」の皆様、大変ご無沙汰しております。JAの業務を通じて近況をご報告いたします。

「ふるさと栄会」が30周年を迎えられる事に心からお祝い申し上げます。このような会が嘗ては各地にあった訳ですが、現在もこれほどしっかりと内容で活動している団体は珍しくなりました。特に会の役員をはじめ事務局のご努力に深く敬意を表したいと存じます。

さて、昨年は記録的なお盆過ぎの猛暑でしたが、今年の9月は例年並みの出来秋を迎えようとしております。各地で自然災害のニュースが聞こえてきますが、ここ横手盆地は幸い作物に影響するほどの事は今のところ無いようでホッとしているところです。

この一年間のJAにおけるニュースと言えば、一番に挙げられるのが、利用施設の建設です。昨年合併した雄物川地区に約10億円をかけてカントリーエレベーターが6月に竣工し、旧横手

市の境町地区には、約4億円をかけてライスセンターの大改修工事を行って

9月に竣工しました。いずれも稲の生籾を乾燥調製処理する大規模施設ですが、稲作農家にとって必要性の高い共同利用施設となっています。

毎年のことですが、このご報告の締めくくりとしてJAの宣伝をしたいと存じます。安全・安心を第一に生産するふるさと横手の農産物「つり吉三平」マークの付いたJA秋田ふるさとの農産物を今後とも皆様が応援団となつてくださるようお願い申し上げます。

平成25年9月19日



(C)矢口高雄

平成12年度から、ふるさと産で販売される青果物のイメージキャラクターとして、増田町出身の漫画家矢口高雄氏の作品「釣りキチ三平」を起用し、他産地との差別化を図っています。

### 市民の力で歴史的勝利!!

### 『チャレンジデー2013』

### に七万人が参加

5月29日、人口規模が同じ自治体・地域が一日のうちに15分以上運動した人の参加率を競い合うイベント『チャレンジデー2013』が行われ、横手市全体としては初めての参加となりました。

対戦相手は、今回が4回目の参戦となる兵庫県豊岡市。開催を控えた5月27日には中貝完治・豊岡市長と五十嵐市長がテレビ電話で会談し、お互いの健闘を誓いました。

開会式会場となった赤坂総合運動公園では、グラウンドゴルフ、ウォーキングの参加者1500人に、横手市スポーツ大使に委嘱されたマラソンランナー高橋勇市さんが加わり五十嵐市長らとラジオ体操を行い、全員でオープニングを宣言。その後、高橋さんは65キロのチャレンジランに伴走者と出発しました。

当日は、市内各地域でスポーツに取り組む姿が見られ、7万391人が参加を報告。参加率は71パーセントを超え、僅差で豊岡市に勝利しました。

『スポーツで地域を元気に』を実践するイベントとなった今回のチャレンジデー。『スポーツ立市よこて』をPRする絶好の機会となりました。

(市報6・15より)



十文字保育所での元気いっぱいダンス



65kmを走破し、伴走者とゴールする高橋さん



高橋勇市さんを応援する増田小学校児童  
高橋さんは足を止め「夢をあきらめずに努力してください」とエール



# 栄小だより 「栄笑楽幸をめざして」

横手市立栄小学校長 菊地 真喜夫

ふるさと栄会の皆様、初めまして！  
今年度より皆様の母校の校長を務めます  
菊地です。宜しくお願い致します。



ふるさと横手は、今年も猛暑となり  
ましたが、一五名の栄っ子は、大屋  
の森と梅に見守られながら、暑さに負  
けず元気一杯に夏を過ごし、実りの秋  
を迎えようとしております。四月以来、  
『今日も一日笑顔で！ 栄っ子三つの  
「あ」（あんぜん）（あいさつ）（あ  
りがとう）』を全校の合い言葉に、一  
人一人が「わくわく・ドキドキ・すっ  
きり」できる笑楽幸（しょうがっこう）  
をめざし学習に生活に運動にチャレン  
ジしております。

これまでの栄っ子の様子を前期の行  
事の中から簡単にご紹介致します。

## ◆ 四月 ◆

### 《入学式》

六日。可愛い十五名の新入生を迎え、  
平成二十五年度を笑顔満開でスタート！



### 《全校PTA》

十八日。今年初めての授業参観と総  
会を実施！

6年生は担任の先生が代わり、子ども  
も親も少し緊張きみでした！

今年度のPTA役員を紹介致します。

#### ◎会長

高橋 幸悦（植沢）

#### ◎副会長

伊藤 正喜（持田）

藤井 治（堂の前）

校長

## ◆ 五月 ◆

### 《運動会》

十二日。清々しい五月晴れに恵まれ、  
沢山の家族や地域の皆さんの声援を受  
けながら栄っ子パワーを発揮するこ  
とができました。今年は、緑組の優勝で  
した！



## 《三・四年生 遠足》

三十日。三・四年生は秋田市にある  
県立博物館と大森山動物園へ遠足に行  
きました。博物館では本物のマンモスの  
骨の実物を前に感動の子ども達でした。



## ◆ 六月 ◆

### 《一・二年生 遠足》

六日。柳田の駅から電車とバスに乗っ  
て増田の真人公園に行ってきました。  
初めての電車体験や公園の遊具遊びに、  
笑顔満開で大満足の一・二年生でした。







### 《横手市陸上競技大会》

七日。第四十五回小学校陸上競技大会が開催されました。栄小からも五・六年生の子ども達が参加し、自分の持っている力を十分に発揮してくれました。その中でも、六年生の女子が持久走で入賞し、県大会に推薦され活躍しました。



### 《六年生 修学旅行》

十三日～十四日。六年生は、岩手県の平泉と宮城県の松島町・仙台市へ修学旅行に行ってきました。特に、世界遺産に登録された平泉の金色堂の輝きに感動したり、震災後の松島の散策に興味深く思いを抱いたり、思い出に残る旅でした。



### ◆七月◆

### 《五年生 宿泊体験学習》

十日～十二日。五年生は、大森町にあります保呂羽山少年自然の家で二泊三日の体験学習を行いました。あいくの雨模様の中の活動でしたが、十五名全員で協力し合い、保呂羽山の大自然を満喫することができた三日間でした。



### ◆八月◆

### 《横手市小学生水泳競技大会》

九日。第三十三回の水泳競技大会が開催され、今年も栄つ子は活躍しました。



最後に、ふるさと栄会の皆様！いつでも母校にご来校下さい。今後も後輩の栄つ子へのご支援を宜しくお願い致します。



## 同期会だより

栄中第6期生（昭和二十八年卒）

### 「喜寿祝いのお会」



栄中学校六期の卒業生である私達は、喜寿の祝を七月一日から二日にかけ横手市にある「かんぼの宿」で実施した。七月一日十四時に栄神社に集合という案内がきたので、久し振りに柳田駅に降りてみようと思った。高校時代三年間お世話になっていながら、帰省する度下車するのはすべて横手駅だったという理由による。東京から新幹線を利用

して行くには三通りの方法がある。柳田駅下車は山形新幹線が一番便利である。これを使い新庄駅から奥羽本線に乗り換えた。昭和三十年代奥羽本線は鉄道の花形基幹線として脚光を浴びていたが、現在は全く斜陽化し新幹線の連絡用としてのみ存在している状態である。五十八年振りに下車した柳田駅は当時の面影が多少残っており大変懐かしかった。

栄神社には既に出席者三十四名が集合しており、あちこちで会話が弾んでいた。同級生の神原宮司よりお祝いを受け、迎いのバスで本日の宿泊地である「かんぼの宿」に向った。途中横手市街の裏通りを抜け山峡に入り明永沼の辺りに目的地があった。この宿泊地は比較的新しく設備も整っておりなかなか居心地の良いところである。一日目の喜寿の祝は中学校で担任であった和賀先生を迎えてまず物故者の黙祷から始まり、続いて幹事及び恩師の挨拶と続きやがて宴会に入る。私達は既に後期高齢者となっており、往時のように馬鹿騒ぎすることもなく宴会はたんとと推移する。ただ久闊をうめるために二次会まで付き合っ

て就寝したのである。は二十四時を廻っていた。本日発表された物故者の数は出席者と同じ位になっており改めて時代の流れを痛感した。明けて二日目はどの観光地にも出かけず、同じ処で十時から宴会の続きを行った。本日の会には小学校時代の恩師柴田先生と一名の同級生の参加があり、和やかな内に祝杯に酔い午後四時にしまいとなった。喜寿の祝も茲に無事終了したのである。

私達の年代ともなれば物故者も当然多くなってくる。と同時に身体が不調であるとか他の諸々の事情により余儀なく参加が出来ないという方々も出てくる。自己の健康に留意し少しでも長生きしたい。又同級生との絆を深め余生を楽しく過ごしたいと思っ

高橋 誠（記）

りんごとあきたこまちの里

JA 秋田ふるさと

秋田ふるさと農業協同組合

代表理事組合長 高橋慶典

理事 柴田多一（外ノ目）

〒013-0071 秋田県横手市八幡字八幡50

ふるさと栄会秋田事務所

TEL 0182-32-8220（代表）

FAX 0182-33-9200

秋田ふるさと農業協同組合横手総合支店

横手総合支店長 遠山 弥吉

横手の酒蔵

阿櫻

阿桜酒造株式会社  
TEL 0182-32-0126

パールライスグループ  
横手食糧事業協同組合



事務長  
小田島キク子

〒013-0051  
秋田県横手市  
大屋新町  
字法竜84番地

TEL 0182-33-5339（代表）

FAX 0182-33-5207





# 同期会だより

栄中第13期生（昭和三十五年卒）

## 「古希を祝う会」



毎年同期会は開催されているが、節目となる「古希」には、気持ちが変わるように感じられて参加を決意。六月九日午後一時過ぎ、「栄神社」に集合。受付をして集まっている方々としぼしの歓談。男性二十二名、女性十三名の出席となり、神社での厳かな神事を滞りなく受けてから、出迎えのバスで一路本日の宿泊地「にかほ市」へ。道中久方ぶりの同期生もおり、バスの外まで聞こえるくらい笑い声でアツという間に仁賀保温泉「いちぢ

に到着。早速写真撮影「修正は色々出来ると言っていたが・・・それなりに写っているようでした。

その後、各部屋に移動、それぞれに積もる話を、午後六時より「祝賀会」が始まる。最初に亡くなられた方々へ冥福を祈り「黙祷」をささげました。

ひきつづき祝宴を、近況や、昔話、体（病氣・とし）の話等々花が咲く程に賑やかに、予定の三時間はまたたく間に過ぎて、部屋を変えて二次会を、それでも話す事は尽きなくて各部屋へ、朝まで徘徊していた輩もいたようだ。

翌日は七時半より朝食を。九時には宿を出発して、名所「蛸満寺」を見学、今は天然記念物、国定公園に指定されている由。ガイドさんの案内で見学したら、遠い昔に来た時より少しは知識として頭に入ったような気がしました。

見学中、とんち合戦でガイドさんもノリノリで予定時間を大幅にオーバー。向いの「道の駅」では女性陣のお土産買いで奔走しておりました。

創業が室町時代という酒造会社「飛良泉本舗」に寄り、明治元年に建てられたという酒倉の中を見学、ここだけでしか出さないコンクール用の酒等色々試飲させてもらい、ほろ酔い気分

で一路横手の「はばき脱ぎ」会場の「シャイニーパレス」へ。

地元以外の人達は、「はばき脱ぎ」を一度体験したいとの事で全員がもう一泊し二泊三日の「古希の旅」でした。

話はなかなか尽きないが別れが次第に

近づいて来ると、又の再会と、お互いの健康を期し「古希を祝う会」を無事過ごす事が出来ました。楽しかった二日間を準備し、盛り上げて下さった方々にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。 辻村英夫（記）



甘熟蜜入サンふじ  
りんご園からもぎたて直送

## 高橋農園

(有)タカハシ(不動産管理)  
代表取締役 高橋 勝雄  
横手市婦気大堤字田久保下44  
TEL FAX 0182-33-1204

横手焼そば専門店

## 藤春食堂

今年も「四天王」を射止め、  
これで5回連続の獲得となる

家庭的な雰囲気のお店です  
帰省の節は是非お立ち寄りください  
年中無休 11:30~17:00  
0182-33-5687  
横手市大屋新町字堂の前22-3  
さかえ館前

秋田のおみやげなら何でも揃う

## おみやげ専門店



## 嶋津

伝統工芸と味

田中町本店／横手市田中町4番40号  
そば 処／TEL (0182) 32-5450  
イオンスーパーセンター横手南店／(0182) 35-2355

株式会社 嶋津

営業時間 9:30~17:30 水曜日定休

栄中第21期生（昭和四十三年卒）

## 還暦後祓い同期会ⅠN東京

私たちの“栄中学校第21期生還暦後祓い”は、平成25年6月30日～7月1日（1泊2日）の日程で“東武ホテルバント東京（墨田区錦糸町）”を会場に開催されました。



6月30日午前5時30分、22名の同期生たちがバスで横手を出発、午後1時に東京組の20名、現地集合組3名（横手在住者）が待つ東京駅丸の内南口近くに到着しました。歓声とともにバスに乗り込み、全参加者45名が合流したところで、さっそく最初の東京観光となる浅草に向けてバスが出発。“浅草見物・

浅草寺参拝”の後、遊覧船“ホタルナ”での東京クルーズ、そして“お台場散策”を楽しみ、ホテルに到着しました。豪華な3階“芙蓉の間”での祝賀会は、幹事の柴田隆夫君と私、飯田和子さん、高橋益子さんの挨拶と経過報告、昨年の実行委員長の河村重市君の挨拶、そして私の乾杯の音頭が始まりました。

和気藹々と昔話に花が咲き、大いに盛り上がりつつ来たところで、飯田和子さんの“師匠”の三味線の伴奏で和子さんの歌が始まり、その後は楽しいカラオケ大会となりました。

そして二次会は、普段だったら躊躇してとても入れないような？24階のスカイツリービュー「レストラン&バー 簾」で夜の“スカイツリー”を眺めながら、お酒と思い出話を楽しみました。また、お開きの後もまだまだ飲み足りず、コンビニへ“三次会”の買出しに出かけた人たちも…。

翌朝、あれだけ飲んだのにしつかり朝食を食べるあたりはさすが秋田県人、“東京スカイツリー”を見るため、誰一人遅刻することなく8時にバスでホテルを出発しました。

混雑を心配した“スカイツリー”は、朝が早く、しかも月曜日だったせいかな非常にスムーズに入場でき、そのうえみんなの普段の行いが良かったのか？

梅雨時にもかかわらず当日はスッキリと晴れ渡り、展望台からの眺めも抜群でした。持ちきれないほど買い込んだお土産をバスのトランクにしまい込み、その後は“柴又帝釈天の参拝”、“寅さん記念館見学”、「男はつらいよ」の映画にも使用された“とらや”での昼食タイムとなりました。デザートは“草だんご”も美味しかったです。

刻々と別れの時間が迫り、同期会の最後の締めとして柴田正夫君に三本締めをしていただきました。その後、私たちは東京在住の同期生たちに見送られながら、後ろ髪をひかれる思いでバスに乗り、東京を後にしました。

帰りのバスでは2日間の話題がはずみ、またアルコールも進み、一段と話が盛り上がりました。またたく間に4日後の“7月5日”、“鳥春”を会場に“ハバキヌギ”を開催することが決まりました。もちろんその“7月5日”は、地元の同期生20名が集まり、大いに盛り上がったということは申すまでもありません。

さて、祝賀会の挨拶で、“8月31日（9月1日）に「秋田ふるさと村」で“横手やきそば四天王決定戦2013”が開催される旨のお話をいたしました。結果みごと同期生の藤井アツ子さんの“藤春食堂”が今年も四天王（5年連続）

に選出されたことをご報告いたします。また、大変残念ながら恩師の“片庭先生”が参加できませんでしたが、先生から沢山のお祝いを頂戴いたしました。ありがとうございました。

最後に、今回の“還暦後祓い同期会”では、忙しいなか周到なコース下見や会場手配、当日の司会進行、写真撮影等に至るまで、関東在住の“柴田隆夫君、飯田和子さん、高橋益子さん”の3名の幹事の方々に頑張っていたいただきました。3名の幹事の皆様、本当にありがとうございました。そして、今回参加していただいた同期生の皆様、本当にありがとうございました。

これで還暦も無事通過、古稀に向かつてまた元気でお目にかかれる日を楽しみにしております。 山本弘幸（記）





栄中第22期生（昭和四十四年卒）

## 還暦を祝う会にちなんで

実行委員長の大屋寺内堀ノ内の藤原久良（屋号通称堀ノ内の久七）です。私達はちょうど花のニッパチ組と呼ばれる昭和28年生まれ世代です。栄小入学当時は総勢93人で2クラスぎゅうぎゅう詰めでしたけれども先生との関係、ふれあい濃密だった事を鮮明に覚えています。7人が亡くなってしまっていて祝賀会参加率ちょうど50%でした。



さて、旅行記を少し記しましょう。

約1年前の9月、いつも連絡の取れている栄地区同期生4〜5人、「来年還暦だ、俺だやらねばダメなんだな」去年の先輩だち、なんとしたたべ聞いでみるべ」その後のリサーチで、私「大変だー、去年の先輩だち、1年以上もみゃがら準備してだで」。菅原康彦「そりゃ大変だスグ始めるべ」と、ど

こでやる？いつやる？まず鳥春で飲みながら決めるべ。

あれからざっと9ヶ月後の6月22日（土）籠球部キャプテン候補だった富岡祥吾君の合図で、神事始まり花火に点火。バババーン。ついに還暦。おめでどう？とても複雑。栄神社神主さんのドンどこドンと太鼓の音がやけに体に響く。パラパラと微妙に合わない二拝二拍手一拝で無事神事終了。

神殿の前でわいわいガヤガヤ。ハイポーズで記念写真済ませ、迎えのバスに乗り込む。一路花巻温泉愛隣館へ。ここでもロビーでハイポーズ。実行委員は祝賀会の会場準備でドタバタ。各部屋ではパタパタとお色直し。各部屋ではプシユ、カチンと練習のハジマリ、ハジマリ。

「いよいよ本番祝賀会。野球部4番にエースの：菅原康彦君が危なっかしい司会、科学部部长の藤原久良君が実行委員長の挨拶をバッチリ決める。朗読の得意だった高橋（泉谷）弘子さんが恩師高橋昭二先生、高橋富貴子先生からのメッセージをスラスラと読み上げる」と副実行委員長の菅原康彦君（通称薬局）の、編集後記に記されており

ます。実はご健在の恩師の先生は、高橋昭二先生と高橋富貴子先生で、お二人とも傘寿前後と推測しますが、色々お忙しく、祝賀会には出席できませんでした。しかしご丁寧な愛情あふれるお祝いの言葉をいただいたのでした。残念

ながら、照井清先生、石川敬先生、沢田ノブ先生、太田順夫先生は、亡くなられております。

さていざ乾杯の発声は吹奏楽部、菅野喜代巳君「カンパニー！」ここで各部屋の練習成果を存分に発揮。息のあつた乾杯でパチパチ。プロジェクターに映し出された「昔の僕たち、私たち」一気に数十年前にタイムスリップする。：中略。宴もたけなわではございますがと、中締め挨拶は籠球部影の主将、新町の三浦富夫君。

予想を上回る楽しさと懐かしさ。栄中学校第22期生還暦祝賀会は終了。次の2次会へ。そしてヤッパリ各部屋で3次会は繰り広げられ、いっお開きになったかはようとして定かではなかったのでした。

翌日は、ホテルをゆっくりチェックアウトし、昼からの横手プラザホテルでの収めの会へ向かったのでした。

プラザホテルでは、このホテルの専務をやっている伊藤司君がバッチリ挨拶、そして中里の中山義信君の乾杯の音頭でハバキヌギ開始。みんな「まだ飲むながや」的な顔をしました。そこはそれ秋田県人、全国酒消費量1位の座をそう簡単に明け渡すわけには行きませんわな。またもや4時くらいから馬喰町へと繰り出す仲間が少なくありませんでしたぞ。こうして昭和二十八年生まれの栄中学校卒業生の還暦祝賀会は無事終了したのでした。

来年の「後厄の祝賀会は東京で！

関東在住の同級生お願いしますね」としっかり圧力をかけた事はゆうまでもありません。

人生の中でも本当の区切りの年の還暦、第二の人生のスタート地点に立ちました。お祓いは済ませましたが、厄年にあたります。まだまだ気持ち若いですが少し体をいたわって無理をせず過ごしたいものです。みんなが健康で幸せで長生きして、これからも何回も祝賀会でお会いすることがきますように！！よし第二の人生もがんばるべー。寄稿させていただきました「ふるさと栄会」のますますのご発展をお祈りしてまいります。同時に故郷「栄」に思い寄せている皆様ならびに「ふるさと栄会」の読者の皆様のご健康とご発展をお祈りします。藤原久良（記）





# 『文化のチカラ』 横手から全国へ

「第二十九回国民文化祭・あきた二〇一四」発見×創造  
もう一つの秋田

「文化の国体」と呼ばれる国民文化祭は、平成二十六年十月四日より一ヶ月にわたって秋田県で開催されます。

全国各地でさまざまな文化活動に親しんでいる個人や団体が、日頃の成果を披露し、競演・交流することにより、文化活動への参加の機運を高め、新しい文化芸術の創造を促す国内最大の文化の祭典です。初会は昭和六十一年に開催。その後、各都道府県の持ち回りで行われ秋田県では初の開催になります。県内では、全二十五市町村で七〇を超える事業の開催が予定されています。

昨年七月設立された市の実行委員会では▼民謡・民舞の祭典▼増田のまちなみと蔵史めぐり▼後三年合戦絵詞の世界▼ダンスフェスティバルin横手▼国際マンガフェスティバルinアキタ▼太鼓の祭典▼食文化フォーラム▼合唱フェスティバルの八つの事業の横手開催を決定しました。

会員の皆様の来年の帰郷計画の一助となれば・・・(市報No.一八五より)

# 「横手やきそば四天王」!

どうやって決めるの?!

横手市観光協会の横手やきそばがグランプリ実行委員会が、今年も八月三十一日(土)九月一日(日)の両日に、秋田ふるさと村特設会場で百人を超える覆麺(面)審査員による、厳しい予選を勝ち抜いた十店舗が参戦。一般客の一票も集計されて今年の「四天王」を決めたのでした。

「横手やきそば暖簾会」では、イベントなどで得た収益金を市へ還元したいと寄付しました。

Vol.7 予選を勝ち抜いた10店舗 美味しさ食べ比べ!

横手やきそば 四天王 決定戦

YOKOTE YAKISOBA GRAND PRIX 2013

日時: ① 8月31日 10:00-10:00  
② 9月1日 10:00-16:00

会場: 秋田ふるさと村特設会場

予選を勝ち抜いた強豪10店舗が、秋田ふるさと村で最終決戦!

審査員は、食文化の専門家、料理研究家、食通、学生、主婦、子どもなど、幅広い年代・性別の審査員が参加します。

写真はその年の10店舗メニューであり、今年優勝で食べられるものではありません。

今年の新メニュー10種類のメニュー、食べ比べで決まります。

チケット販売開始 8/10 発売開始!!

当日券 (1食券) 350円 (10食券) 3,500円

会場では イベント 盛り沢山!

プレゼント特売会!

8月31日(土)・9月1日(日) 11:00-16:00まで、会場内にて、常設はプレゼント特売会!

主催: 横手やきそばグランプリ実行委員会 協賛: 株式会社サークルKサンクス お問い合わせ: 0182-33-7111

## 👑 横手やきそば四天王 2013

安楽食堂                      食い道楽 本店  
出端屋 ふるさと村店      藤春食堂



(大曲市出身)

自費出版・学会誌印刷・印刷一般  
**(株) つくる印刷部**  
奈良慶一郎

〒240-0065  
横浜市保土ヶ谷区和田1-7-29  
TEL: 045-337-0034(代)  
FAX: 045-334-2983  
E-mail: narasyoukai@nifty.com

決算・記帳・申告・相談  
調査立会いなど税務一般

—ご利用ください—

税理士 太田 佐内

事務所: 〒106-0031  
東京都港区西麻布4-3-12  
吉角ビル2F  
TEL: 03-6427-4210  
FAX: 03-6427-4211  
携帯: 090-7428-0335

調査・測量・開発・設計・監理

三洋測量設計株式会社

代表取締役 会長  
大隅 邦 男

〒250-0854 神奈川県小田原市飯田岡6番地  
TEL 0465-36-2393  
FAX 0465-36-5900

ふるさと栄会第30回目を迎えて

### 記念公演

## テノール 齊藤 忠生(ちゅうせい)の世界

### \*プロフィール\*

生まれは秋田県五城目出身。天性の張りのある輝きを備えた美しい声の持ち主で、たぐいまれな演技力と表現力で、キャラクターテノールの第一人者である。大谷冽子・畑中良輔・宮元昭太の諸氏に師事。一世一代のエンターティナー故立川清登氏にその驚異的天分と音楽的才能を認められ、「メリーウイドウ」のニエグース役は100回を越える公演に出演している。ミュージカルの分野では、松本幸四郎主演のミュージカル「スウィーニートッド」に出演し大好評を博した。歌うのが好き、人が好き、ライブコンサートで、カンツォーネ、タンゴ、シャンソン、ジャズ、演歌、何でも歌うが「寂しがりやの田舎モン」と本人はくったくがない。

まずは、お楽しみ下さい。  
 なお更にテノール齊藤忠生氏とその仲間たちのコンサートへお出掛けの際は、出演されているかを確かめてからお出掛けのほうがいいでしょう。

☆出演は、ドイツミュージックレストラン  
 「アルテリーベ」

電話 〇三―三五―一九七〇〇七  
 FAX 〇三―三五―一九七〇五〇  
 〒105―0004 東京都港区新橋2―12―15  
 池伝ビルB1

昨年の公演の後ふるさと栄会の全体の雰囲気が入り、最後まで席について楽しんでいただきました。「同年代のテノールでステージに上っている人は日本にはもう居ないでしょう」とは本人の自慢でした。



カステラ・佃煮・和菓子・各種折箱  
 杉・桐・モミその他高級箱類

### 佐藤折箱店

佐藤 千代見

〒332-0003 川口市東領家1-15-3  
 ☎ 048-224-6194

東北地区不動産公正取引協議会  
 (社)秋田県宅地建物取引業協会 会員  
 (社)全国宅地建物取引業保証協会

免許番号 秋田県知事(9)第1068号

### 阿部不動産

代表者 阿部 信孝

横手市柳田字持田67番地  
 TEL 0182-33-5599(代)  
 FAX 0182-33-5699  
 Mail info@yokote.net  
 URL http://www.yokote.net/~abe-fudousan/

貴金属・宝石  
 装身具・指輪加工

### 清水貴金属加工所

清水 勇治

〒143-0012  
 東京都大田区大森東4-29-12  
 TEL・FAX 03-3761-7366

### 祝 30周年

第30回 ふるさと栄会 総会  
 栄中7期 (昭和29年卒)

大隅 亮悦 照井 重弘  
 千嶋 三郎 佐藤 重治郎  
 柴田 邦夫 本郷 キヨ  
 鈴木 定男 岡田 弘子

### 高橋 誠

首都圏秋田県人会連合会 副会長  
 多摩地区秋田県人会 相談役  
 東京都昭島市中町  
 二一八八一―二十三  
 電話 〇四二(五四五)二四四六



## 賛助金 ご協力ありがとうございました

ふるさと栄会の発展と活性化のため協賛金のご協力をお願い致しましたところ、24年度は85名の皆様から252,000円の多大なご厚志を頂戴致しました。ここに厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

会の更なる発展と維持運営のため、有効に活用させていただきます。  
今後ともご理解・ご協力賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

ふるさと栄会会長 高橋 豊

## 会員ギャラリー



八重桜



奥入瀬

油絵 永井 節子(15期)



フラワーアレンジメント 佐藤 カツ子(16期)



待ち人



2019.04.02

